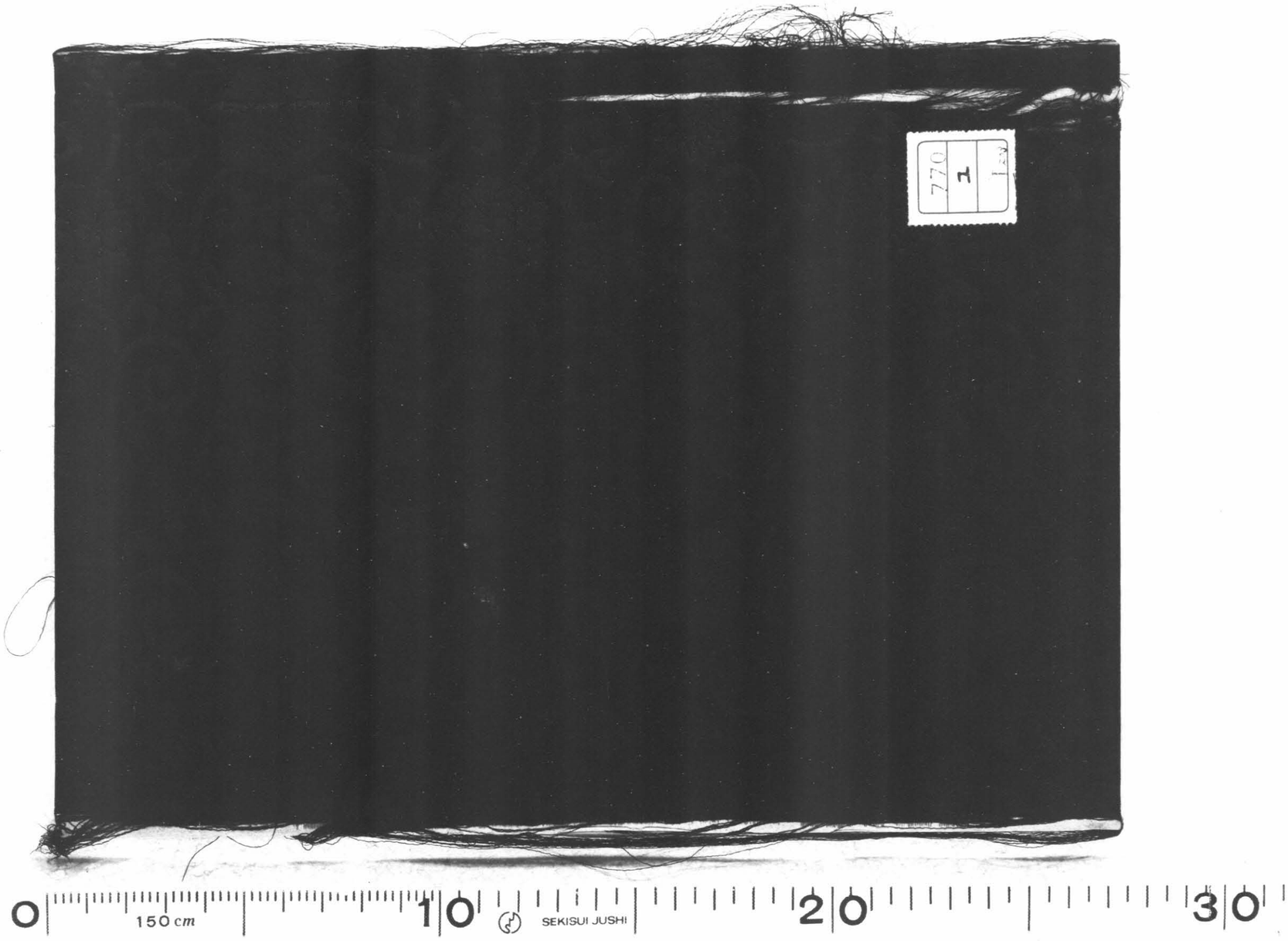
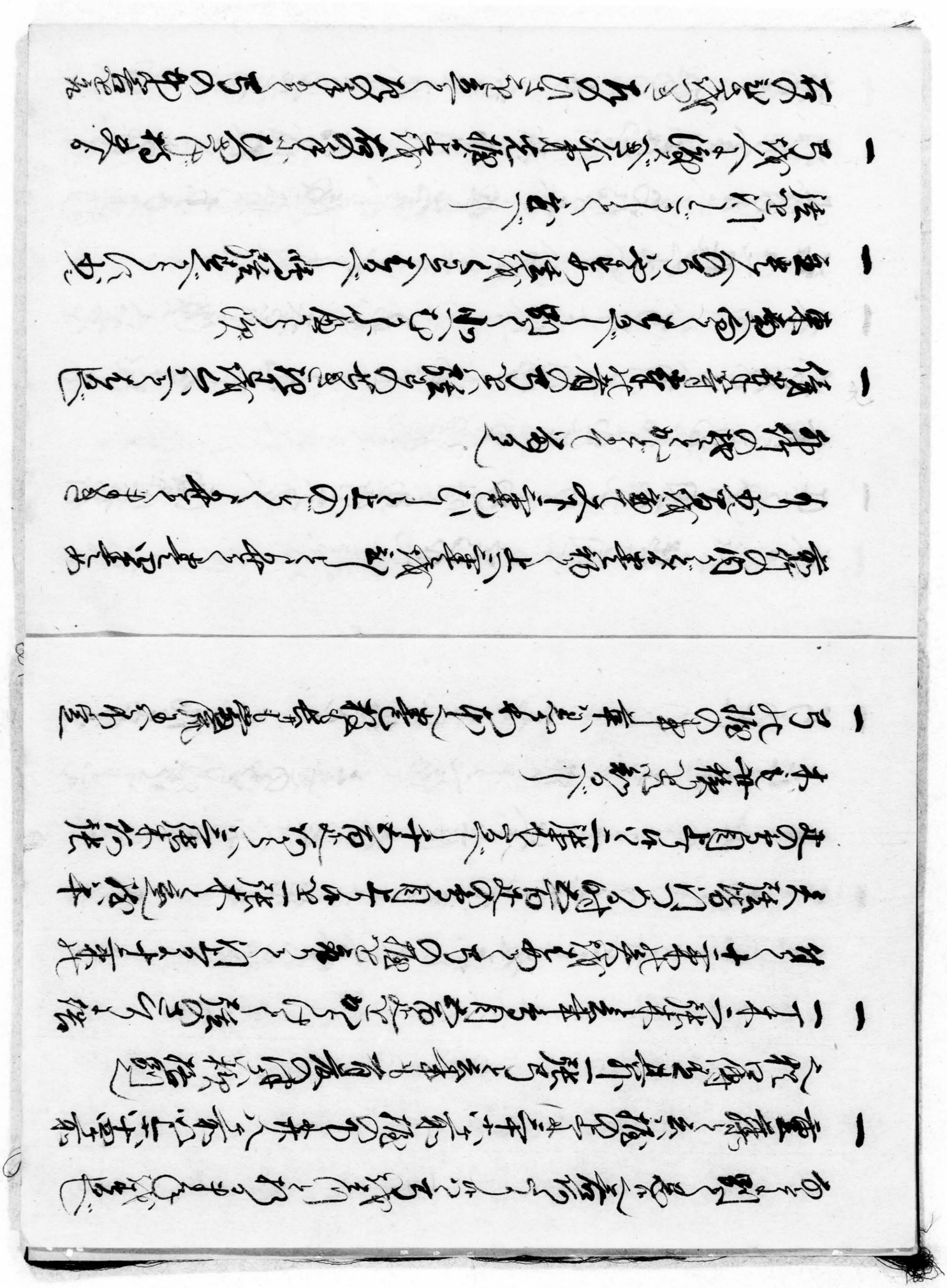

770
1
150 cm
SEKISUI JUSHI

770
立
1

弓矢起こし書

帝国図書館蔵
昭和7.13
184109

一弓のれこりのまき一巻きあり氏の蜘蛛ゝと云ふ物を作る西東
こたゝ云者のもの作りうゝ伝て　上意の品ゝ減ぜゝ書
とゝ云ふ事ゝ也ゝ一張ゝ弓ゝ長き人ゝ丈ゝ長く出ず
一弓の長のゝ先ゝ末ゝ云ゝ弦掛ゝ云ゝ中ゝ
外行間外ゝ打上下ゝ筋ゝ筋ゝ筋ゝ筋ゝ筋ゝ
の間ゝ筋ゝに角ゝ筋ゝ云ゝ又ゝ矢ゝ引ゝ所ゝの筋ゝの百ゝ筋ゝ
はゝ〳〵筋ゝ云ゝ打ゝ云ゝ西ゝ天智天皇の時ゝ初ゝ
御歌ゝ〳〵ゝ天ゝ皇ゝ我ゝ〳〵ゝ時ゝ弓ゝ打ゝ
矢ゝ打ゝ云ゝ弦ゝ矢ゝ人ゝ角ゝ弦ゝ打ゝ弦ゝ有ゝ



右のごとく拵のもとゝ成り〳〵人のこゝろ差とのゝ〳〵御ゝ
信丸人数[illegible]付ゝ拵の[illegible]拵[illegible]
上[illegible]の丸山〳〵と云ふ所ゝ〳〵拵[illegible]
信丸〳〵但[illegible]丸人[illegible]〳〵上ゝも[illegible]
一 [illegible]の[illegible]ゝ〳〵[illegible]参者ゝ御ゝ[illegible]
人の[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
〳〵[illegible]
一 はらめぬう同前〳〵[illegible]時ゝ[illegible]御ゝ前
上ゝ[illegible]ゝ張ゝう同前ゝ[illegible]

一 張ゝ[illegible]ゝ〳〵[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
拵ゝ上ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
下ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
一 [illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
の時 上意の[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
一 [illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

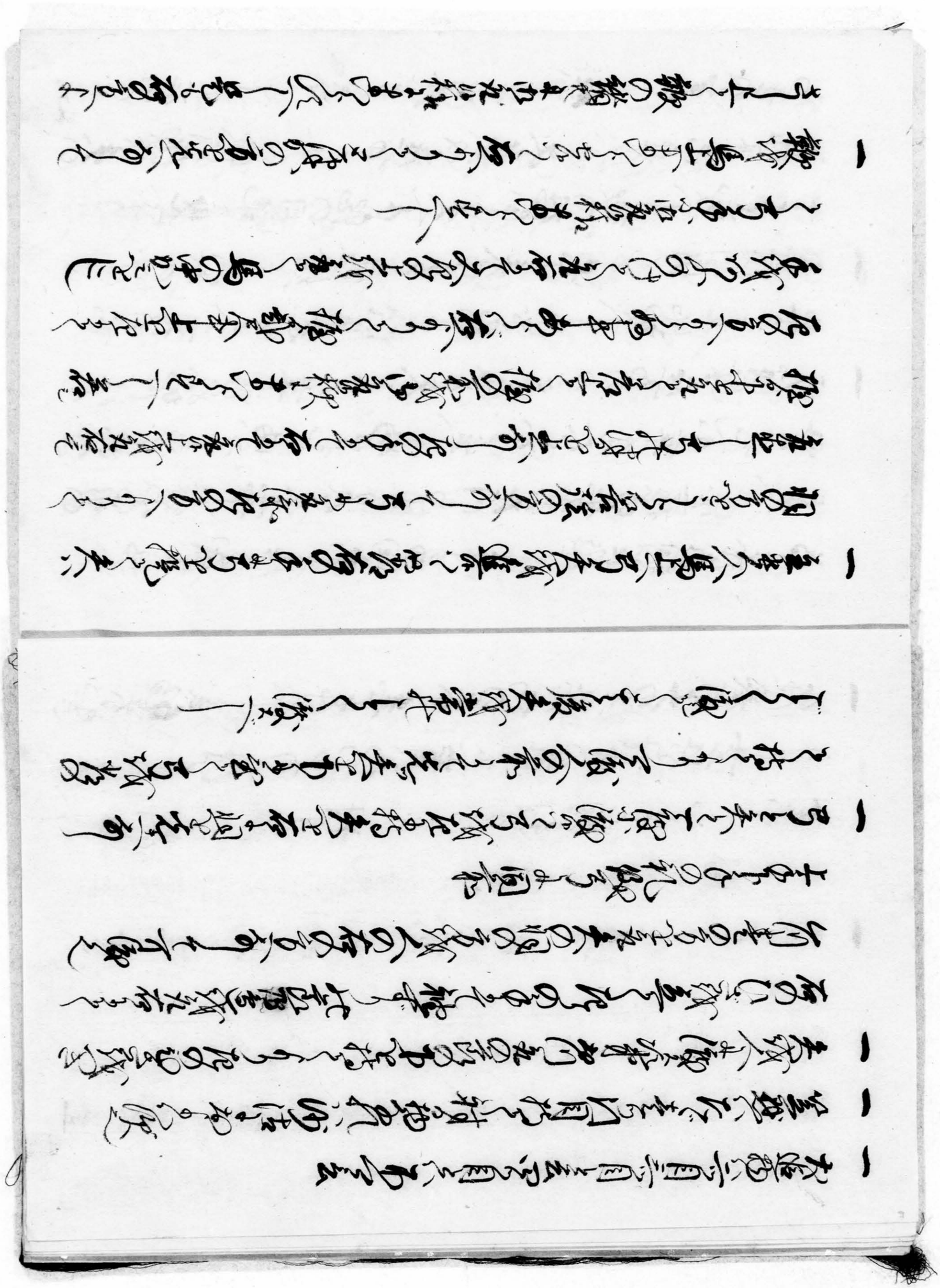
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

一　[illegible]の日記の見へたり

[illegible]

一　[illegible]

[illegible]

[illegible]

一　[illegible]

く前の矢をとりあげて前へ退く

一 生人屋敷の場へ出る時いろいろ矢筒に指て居る者の
左手に持て右手に矢筒を持て来て出る者と先矢
筒に指て出る生人の方へ立て後矢筒を右手に立
て退く数年生人出る時別の人数へ矢を指て居
矢筒指て出る

一 馬方に成る矢筒を指て居る者と自然海老のとそて生
人を乗合せ行く者の指れて居る矢を朝の
矢を右手にたんさに成て居る者と右手にとて

て後へ引く若生人詞を言ひて居る者を敵
間近に中へ生人を入れて後に立て引く我
右に立て退く生人を左手の方へ位右の刀ぬき
左へ退く所者 私白生人成る者

一 信濃笠を引て退く時に成て弦を人の方の矢を
もて後に振合詞人余に成て左手に立て居
ながら立て来て行けば其人に陸て礼成る
海老 印作生人の方へむけぬ中礼成に指て敵に向て
ち敵をつくる印作成敵の方へ向けてつくべし

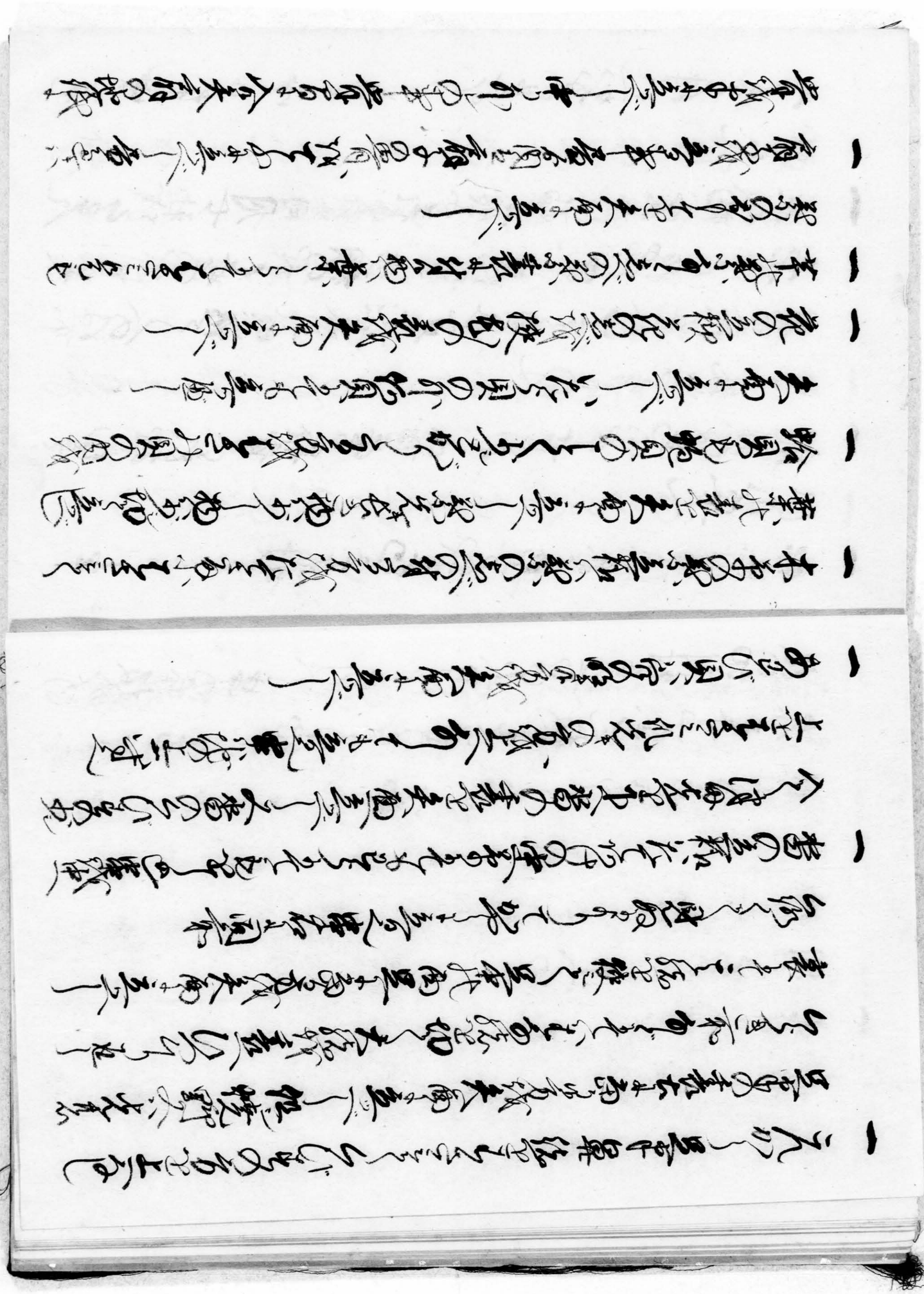
一 弦一張とハ七束[illegible]云一張[illegible]一束二束[illegible]と云
一 厚股矢ハ一つと一束と云 [illegible]者の一束ハ二束のゝ[illegible]
一つと云も有り
一 箭の本かゝらと申ハ神代より有て種子の間を[illegible]
矯矢の沙汰を時ハ左のかゝりまゝ[illegible]ハ[illegible]
かゝりまゝと対忍[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 かゝらと云本二つ合申ハ厚股から[illegible]
此上三つ[illegible]四つ目のかゝ[illegible]

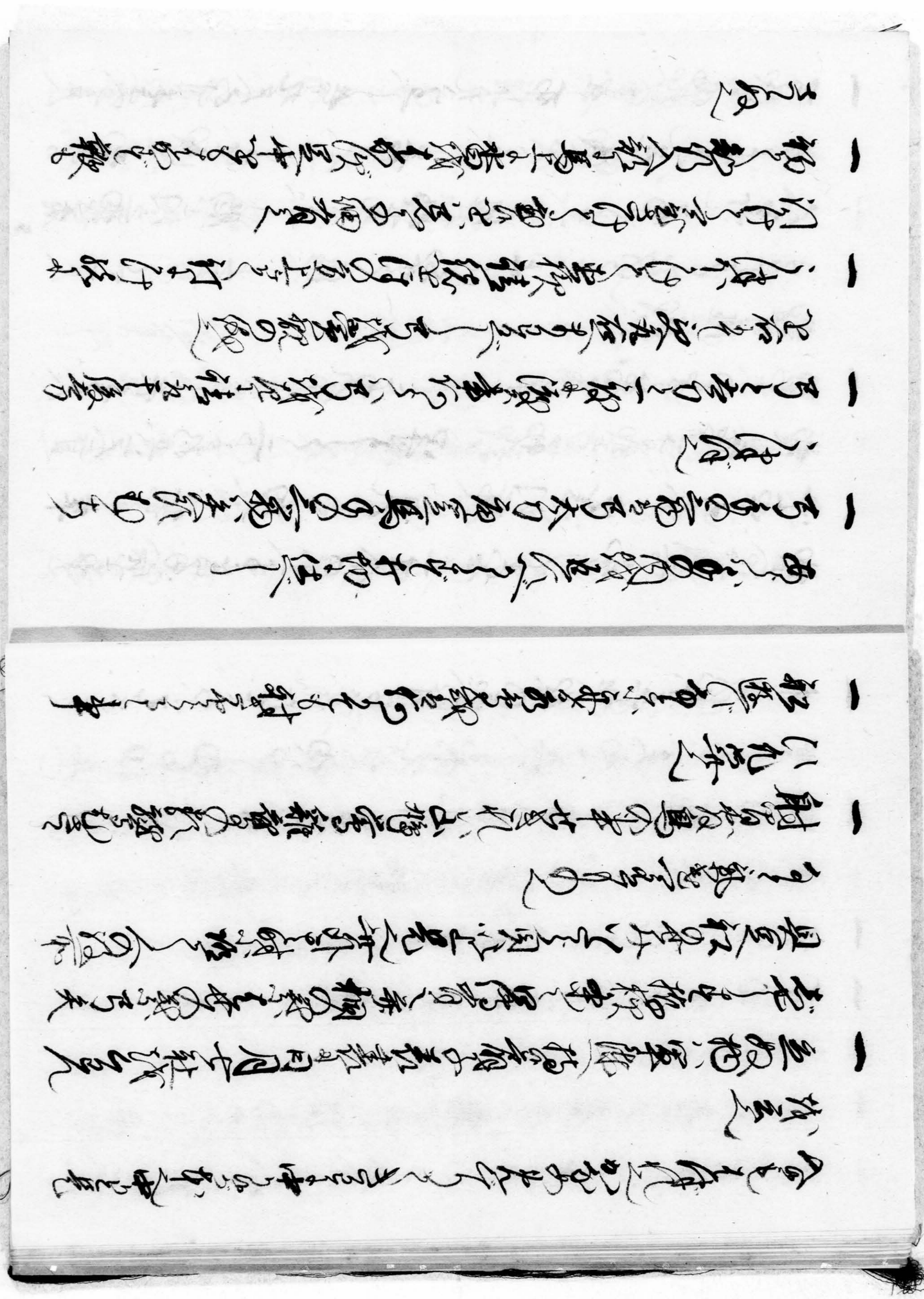
の乃文字の[illegible]
[illegible]
一 [illegible]矢と矢申ハ[illegible]
陰陽の時ハ申の陽[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 脇指の矢頭上指の矢頭云 [illegible]の時用之[illegible]

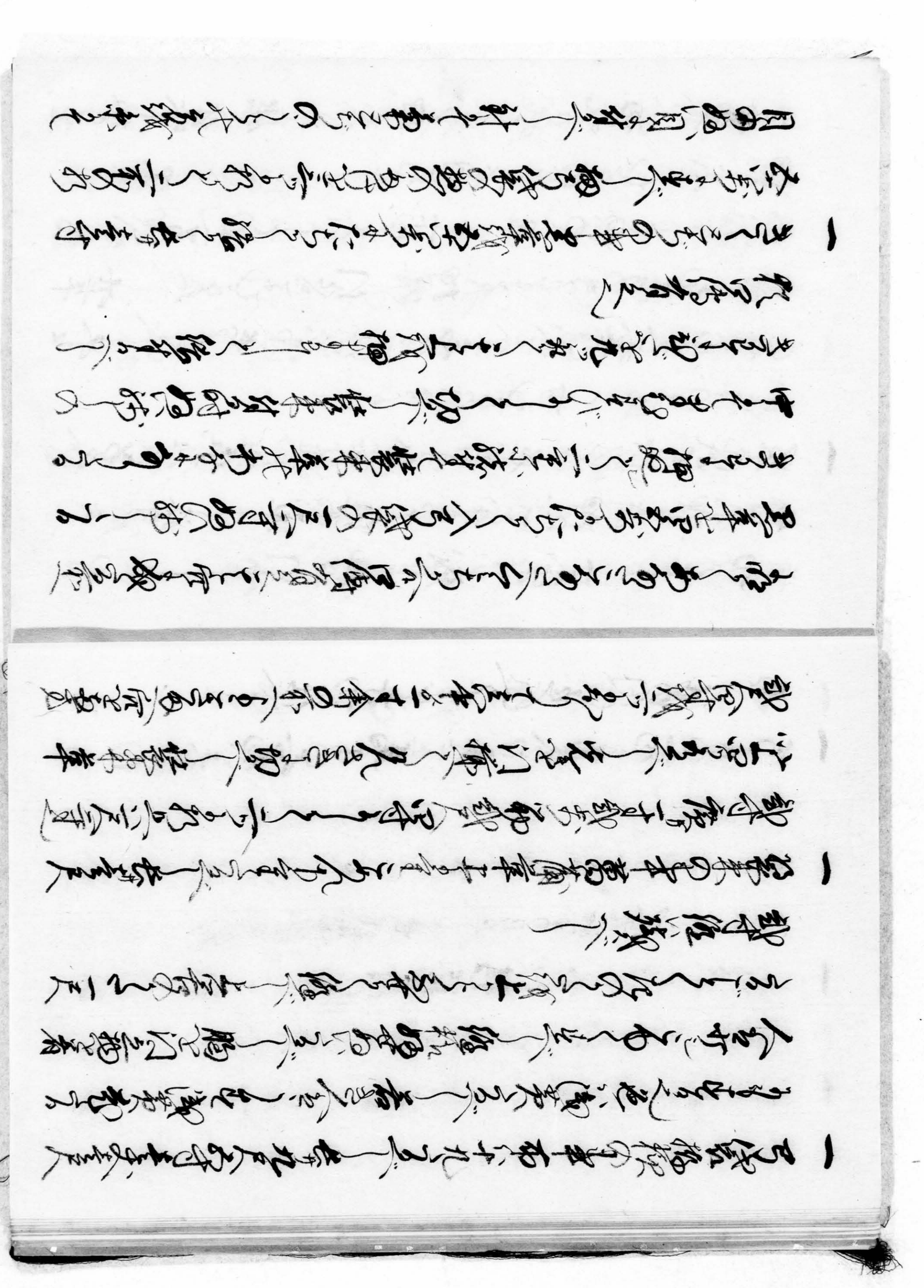
[illegible]

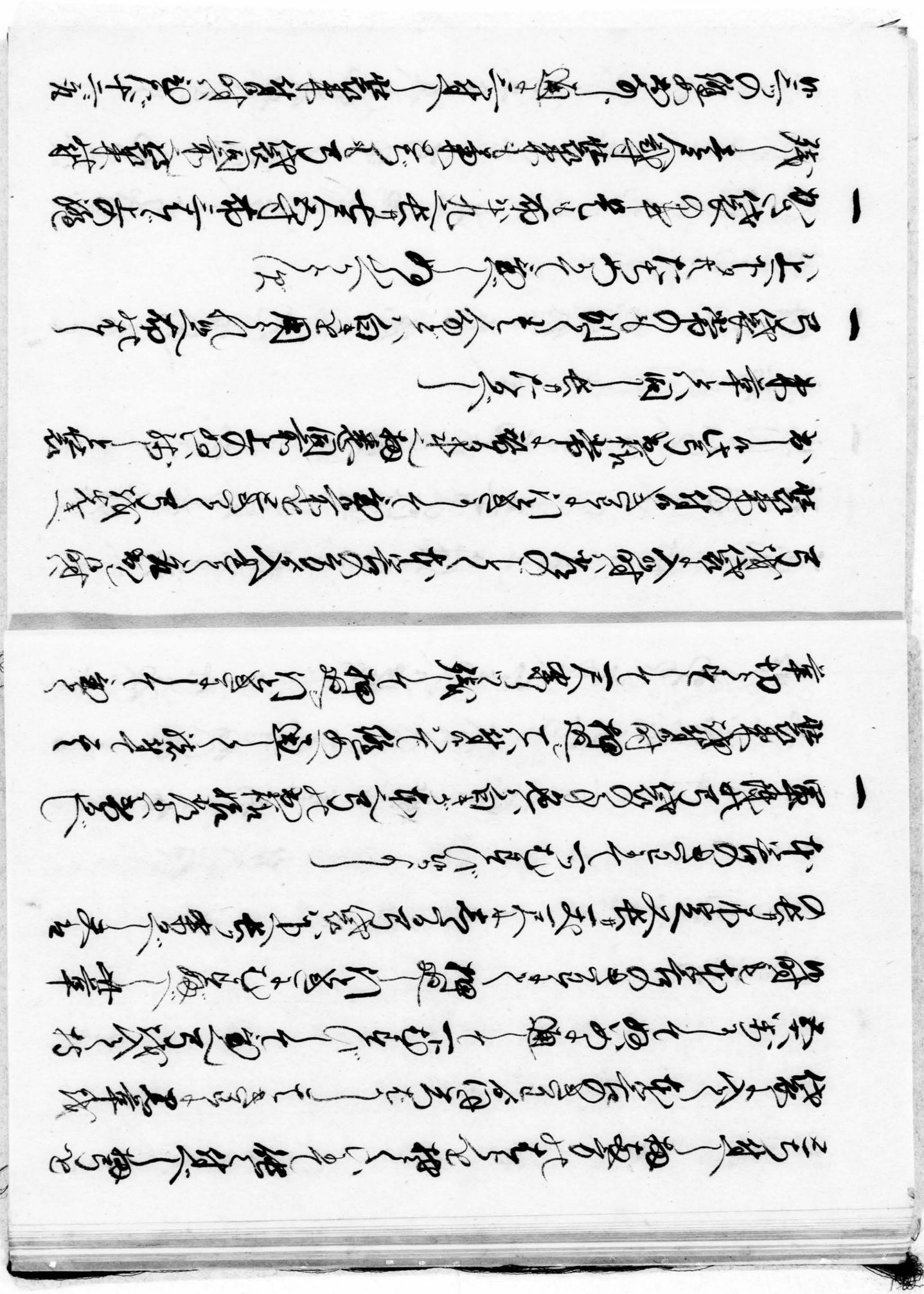
[illegible]

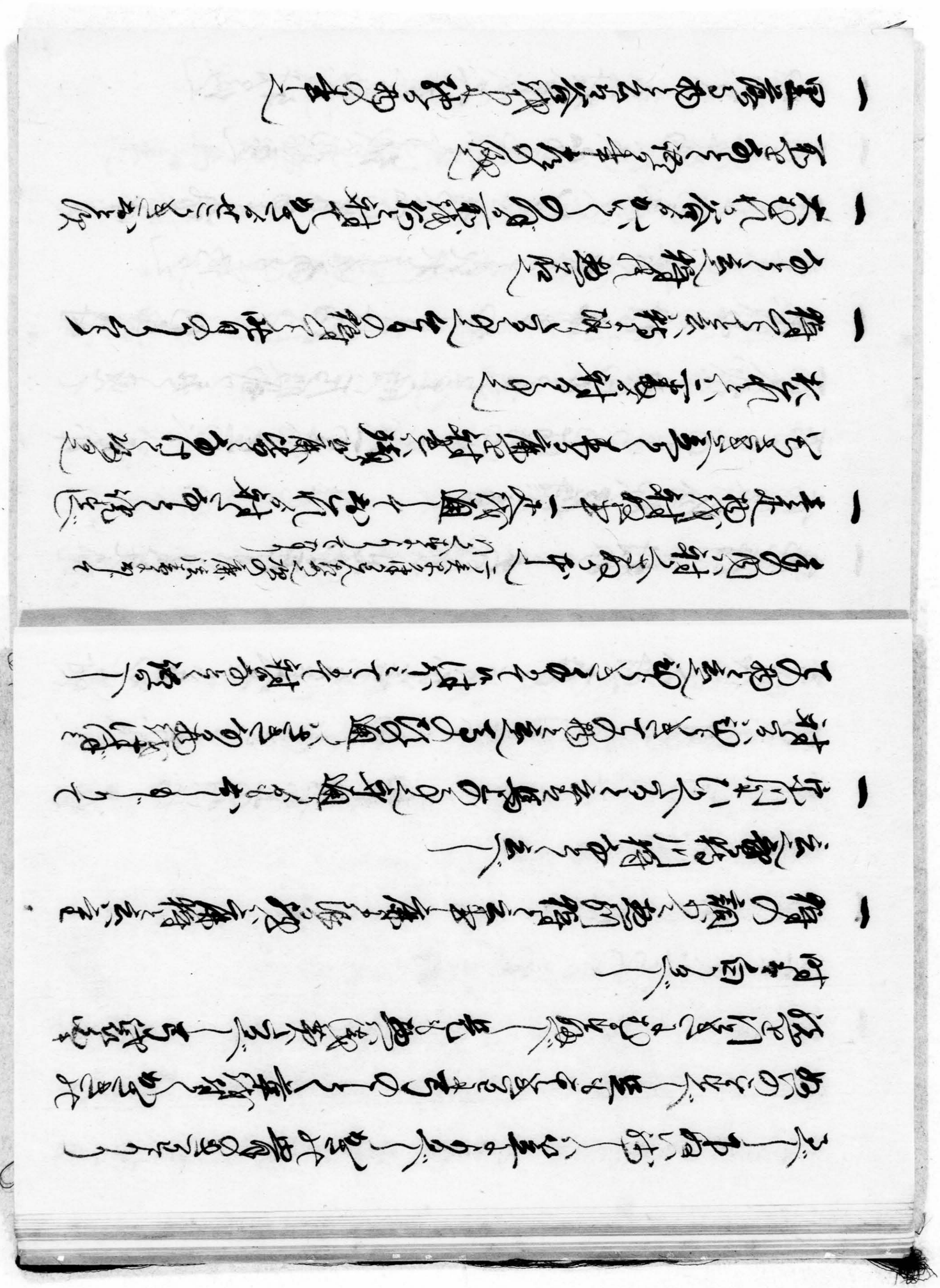
[illegible]











[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 たかきこゝろとゝ云ものかちうの事

一 まとのわきの物と云ハ兎狐狼猪兎とゝいたいゝ射事

一 前音〻傳〻

一 大的ハひやくまと

一 小的ハ弟ぬ

一 たんとうひやくまと同じくゝ云共也同流儀

馬のうへ[illegible]日ものゝ矢ゝ[illegible]ハ

義ひやくゝ大射日の時三度〻四月ゝ

征夫ゝ[illegible]ゝ射ゝと云ハ同じくゝ云

化粧

一 唐弦の事ハ音の事ハ常ものゝ二つもり[illegible]

用ゝて[illegible]ゝ二ゝ九[illegible]

一 合戦の時ハ兵一つ[illegible]

一 [illegible]射の時二つ[illegible]

一 小的ゝ事 上意御ちゝ[illegible]大的[illegible]

[illegible]音義皆大的[illegible]

[illegible]大的の[illegible]射の時[illegible]

まゝ[illegible]ゝ[illegible]人[illegible]

十人ニテ出シ場ニ立ベシ　射場の広さ一人ニ付巾六尺　横二人前流儀式の的ニ成キ事

一　固的場ハ可出仕ハ　ちゃ踏代ニ　夫員ニ　御章ヲ　又刻印ニ出ル

御章ハ　若年ニ成ル　白毛の元ニ　的の方ハ　むくそ

紙ベシ　ちゃ踏代ニ　夫員ニ　右ニ　重ベシ　ねたち紙の上ニ

廻ル　御章ハ　重石の　ひさの下の方ニ　御章の上ニ　ガーゼ

ヲ　結ブベシ

一　矢代の事　一ヶ矢ニ　一ヶ　矢員ニ　夫ヲ　表ニ

持ベシ　大会の　矢代ハ　初ノ　右の方ニ　重ネ　退ク

一　ちゃ場ニ　三人　の前ニ　の　ハ　射場の　中ニ

打揃ヘ　最ニ　御祭ニ　御祖ヲ　祭る　水口ニ　御ヲ　上下ニ　着ス

有之　袴ニ　着ス　ましく　右ハ　長ニ　ハ　三ヶ　ハ　三ヶ

ヘ　右の　長ニ　右の　長ニ　同様ニ　仕ル　御的ニ　見ル　右の　長

ヶ　ちゃ踏ニ　ハ　ちゃ踏の　間ニ　立ル

ちゃ踏ニ　ハ　ハ　ちゃ踏の　間ニ　立ル　御的ニ　ちゃ踏ニ　夫員ニ　的ヲ

見ル　後ニ　ちゃ踏ニ　御的ヲ　見ル　的ヲ

抜ル　ちゃ踏の　前ニ　的ヲ　夫員ニ　的ヲ　ちゃ踏ニ

つい　ちゃ踏ニ　ひざ　ハ　ちゃ踏の　的ヲ　夫員ニ　的ヲ　ちゃ踏ニ

御射ベシ　右ヲ　夫員ニ　的ヲ　ちゃ踏ニ　射ル　ちゃ踏ニ　的ヲ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

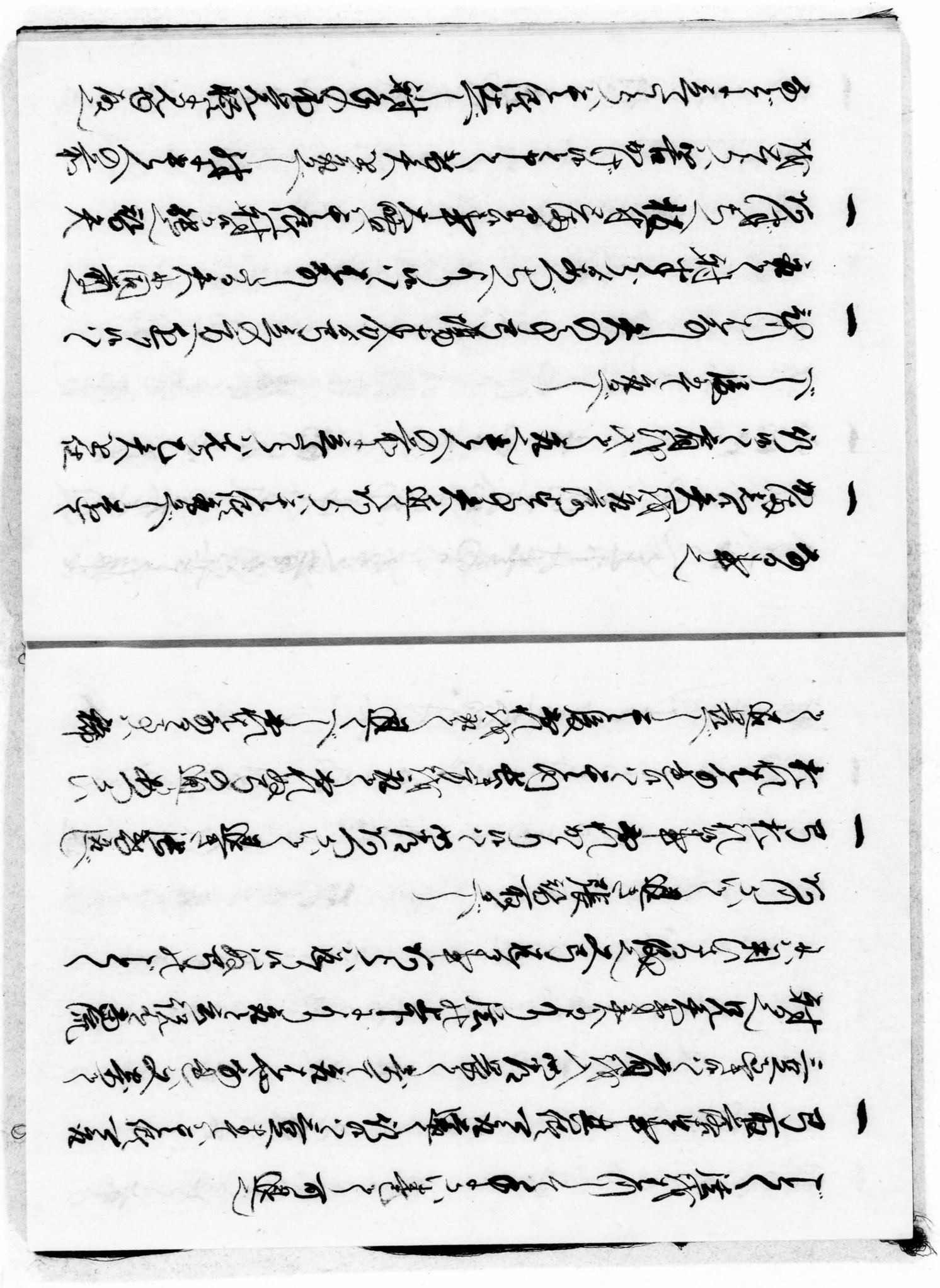
[illegible]

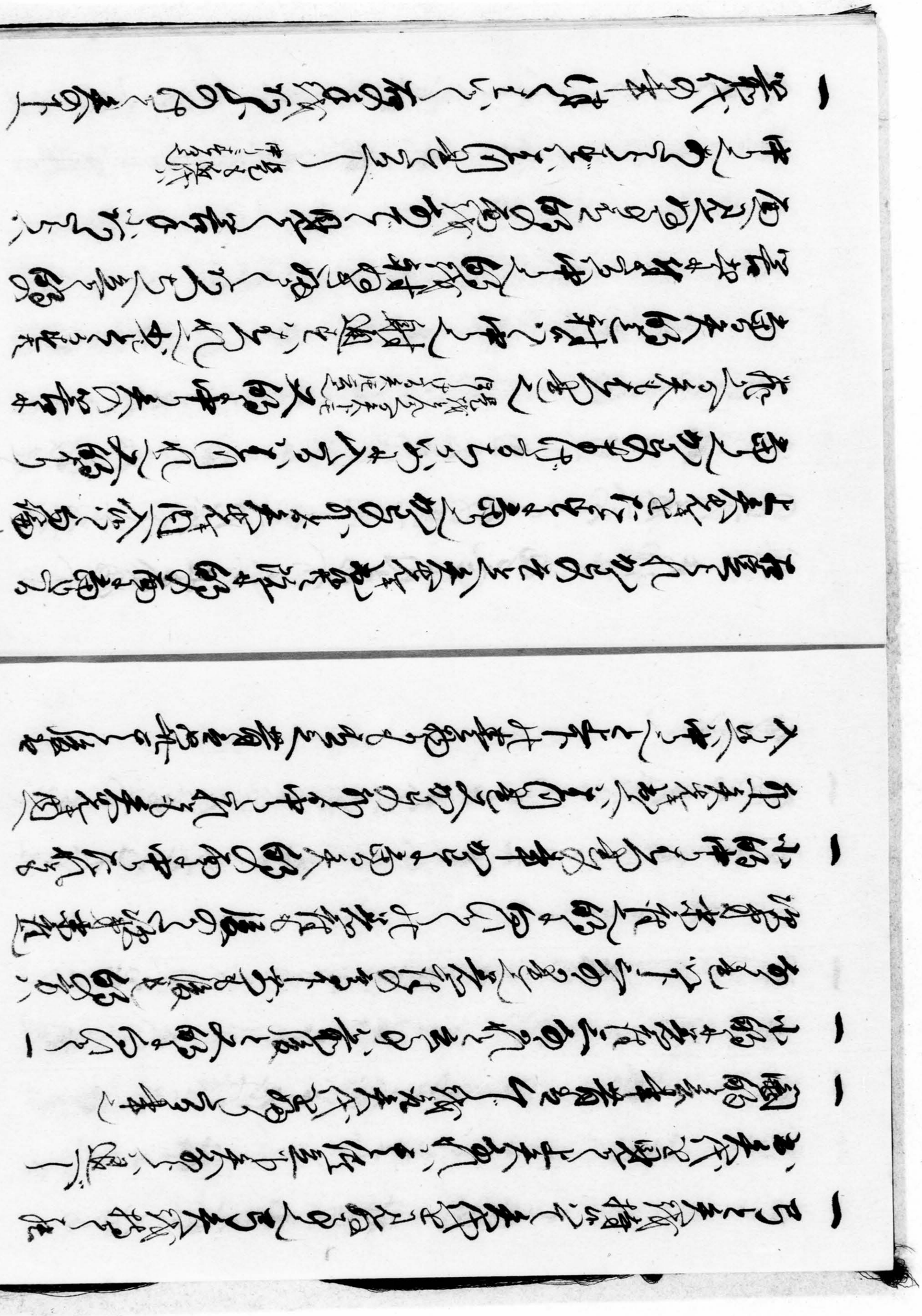
一 射もそこ[illegible]の日もたの[illegible]合[illegible]の[illegible]
[illegible]的[illegible]合[illegible]三[illegible]
小[illegible]つ[illegible]大的[illegible]中[illegible]

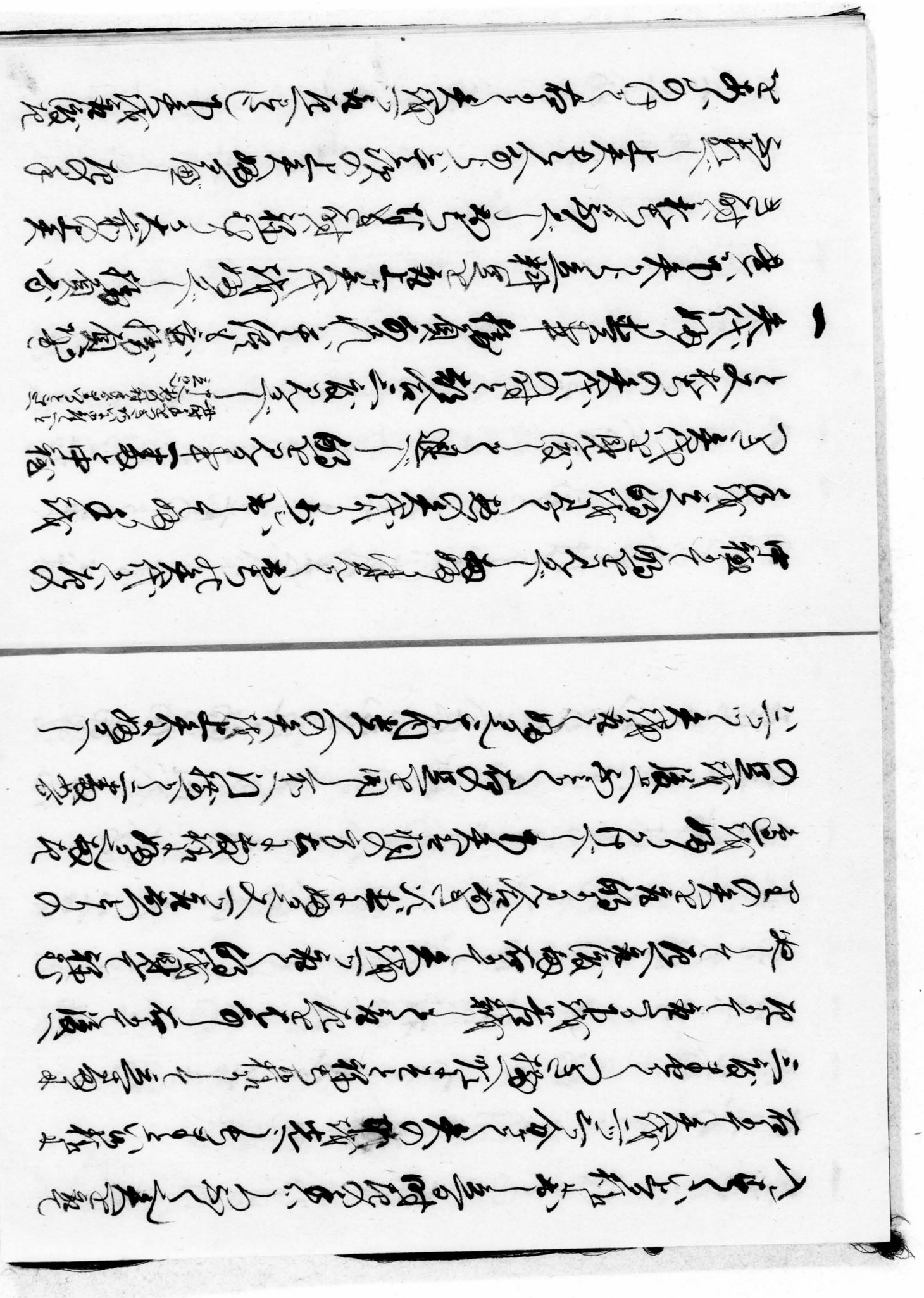
一 [illegible]射[illegible]
[illegible]射[illegible]
[illegible]射[illegible]
[illegible]

射[illegible]常のごとく[illegible]大的の時[illegible]

一 弦切[illegible]
[illegible]
[illegible]







の日一つ元き（畑ここ十度有の日なれ）と一つ取り分ち二月三つて
ひ物い相振れ前のごとく夫代拔一番を二つてもぬこと分
る五人上る時も一番を二つてもとべし
一　夫代多しても有れば先まぜる時に前よりして
振れかへてねとけり前の有の五番を出て前の夫振
もそて夫の相の言なれば言ちて出る夫を出る又
相はぐ出の夫相は時一つあるりにて夫拔れそ皆
こ番を分ち番さる夫と一つして前のしるく出る
相つぎ出はくさいさいせんの夫代はまぜる口は

き振へ四前後へ九度以下同前之
一　夫代一組二組と云へ一ふと云日用いる
一　さか相の年同年の時に打組ミ夫主人きへ人の時も
前に落へ打べし同年あれば打掛ぎもと人の主に打掛ぬ
礼仕へ上夫の段よまに打は後に二つ夫の夫代の時に
下夫もさう相打年に時上夫下夫分の夫代の中の時に
下夫さう相打べしべ一五打へ人の夫代をさう相打べしべ
一五打へ一五出と云へ打へ相ちこの初とり年と云いたこ
又一五夫代さう相別に有へ夫の夫代りも我夫代まを拔

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 小的は下ヶ絵三ツ和のもの[illegible]きるを引種
[illegible]力乃さ[illegible]如しく稜の節よりとを押めべし

一 的代射つ[illegible]ものを云同[illegible]を射[illegible]むることを云べし

一 小的は絵の中柳の本或寸の大的の絵の稜りを
[illegible]大的の絵の本小眼一尺七寸一の長三寸[illegible]の
長さ小眼のきさの長のもの二の長部[illegible]三の長三寸

三の長さ山形の長さも云白三ツ同[illegible]絵寸七分
中て[illegible]小的大小共に稜り[illegible]根[illegible]して[illegible]
表和[illegible]絵長[illegible]表[illegible]絵白[illegible]
長[illegible]絵白[illegible]絵の絵[illegible]
[illegible]白[illegible]

一 小的の力ともちいめ[illegible]の方[illegible]べし表を逆

一 小的の力ともに元値と表して三和に書べし先は大的代
板[illegible]て綱代に組の文代表[illegible]

一 小的の表に鬼と云文字の御書の高流に用[illegible]
的[illegible]ことに見代表[illegible]鬼の[illegible]て[illegible]

ちゃくしゅくする物を鵠と云ふ鵠の図黒を入るのハ行やすしとる
説他流にくらべての数物なり有之
一 小的大小有之然れども一人或する大きハ不可
有小的を的と云ふ
一 的矢ハ一げと云うるかと云ふ（他流にハ的の事ハ的矢と云ふ）
一 略成面ちのこい筋も有之
一 黒筋に高流ハ中に他流ハ中に用之 口傳
一 的矢をかもぐ矢
一 面の図のとおりにもちきの矢ハ行こあ

掛と云ふ

一 的矢の羽ハ中黒鳥の羽ハ切成中黒の羽ハ
中黒黒芝の羽
一 三つ的ハ中巾を三つ切にしてもよろ
敷

六寸 此三つ中に入る矢ハ長きを大きなる二つハ後ろ
四寸 此小的ハ鵠と云字あると他流ハ書と云流ハ高流ハ
八寸 高流ハ上のちいさきまたハ中ハ後と云一つ有之

一 勝負の事一番大きなると十文字ハ中ハ的ハ文字あち

いさつき的三寸大さうべし　極八寸大の的は射面にうると七寸大
寸を八寸大ゆ十文八むるる　的をも七分ほそ　指渡をも
べし十文七分の矢を用ゆべしいう極のうち用ゆる弓馬の
道小料を勝負とまるるの小的と大遠矢たりとも云
事なたりと云心詰りうるる也

一　的山と事家後ゆ有らぬ　指よりいうて極よ筆し
起引の長八寸方角定廣き方大きよ極き方ちいさく
三角ゆ作る筆べし　化地きる時天地人三才の理
なく大きの方べし　弓立の方の的山の方の底ゆ上へと

引べし　大さき上ちとく　木作り　芝居ゆいは毎ゆ上一重
八芝の高さ上の方ゆ　はくべし　久家重と思の指渡
武士ゆ　はきて　芝ゆ行とき　余く指
はきてうる紙之

一　的山筆の時弓立の方ゆ　縄と用く毎の縄ゆ　指
立ゆ　塔の尺高さ定る　指前の方七指と　極ゆ
立の方ゆ　長と　長と　又　
かゆ　はく　大立　長的山の　つき　の所要之　秘伝
筆後の　報と　指　極　長之

一 あづちの方よりぬきこみて形をこゑうの川をこゑ
あつれりて有馬之口見付の山形のうへかき上ケ也
一 小鹿山とも又かき付けとも云小あづらとい[illegible]とも大あづ
ちとい[illegible]屋かうゞ

文録十三庚寅六月吉日　上羽又兵衛

九州大學圖書印

[illegible]